



学校法人近畿大学弘徳学園
近大姫路大学
近畿大学豊岡短期大学
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

平成23年度 事業計画書

学校法人 近畿大学弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立した。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、近畿大学の姉妹法人として、3つの学校を経営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設した。

その結果、本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となった。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とする。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めている。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

I 法人の概要

(3) 学校法人の沿革 (概要)

昭和	26年	2月	学校法人近畿大学認可
	39年	3月	近畿大学附属豊岡女子高等学校設置認可
	42年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学設置認可
	42年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学開学(家政科)
	44年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部家政科設置認可
	44年	7月	学生食堂竣工
	46年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科設置認可
	46年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学(幼児教育科)保母養成校指定
	47年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部幼児教育科設置認可
	48年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育科設置認可
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部(幼児教育科)保母養成校指定
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科廃止
	48年	4月	近畿大学豊岡短期大学児童教育学科初等教育学専攻、幼児教育学専攻増設
	55年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園設置認可
	55年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園開学
	59年	9月	近畿大学豊岡学園歌制定
	60年	7月	近畿大学豊岡女子短期大学 和花季会館竣工
平成	元年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学を近畿大学豊岡短期大学に名称変更
	4年	11月	近畿大学豊岡短期大学創立25周年記念式典
	4年	12月	学生食堂ログハウス竣工
	7年	4月	グラウンド完成
	7年	11月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立25周年記念式典
	14年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部社会福祉士養成通信課程開設
	15年	11月	学校法人近畿大学弘徳学園設置認可
	16年	4月	近畿大学豊岡短期大学並びに近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園を学校法人近畿大学から学校法人近畿大学弘徳学園へ設置者変更
	17年	4月	近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学こども学科に名称変更
	17年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科に名称変更
	17年	5月	私立学校法改正に伴う寄附行為変更届認可
	17年	5月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立35周年記念式典
	18年	11月	近大姫路大学看護学部看護学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
	19年	4月	近大姫路大学開学(看護学部看護学科)
	19年	12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
	19年	12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程設置認可及び寄附行為変更申請認可
	20年	1月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科保育士養成課程定員変更(1,000人→1,800人)
	20年	3月	近畿大学豊岡短期大学生活情報・福祉学科廃止
	20年	4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科開設
	20年	4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程開設
	21年	1月	収益事業廃止に伴う寄附行為変更申請認可
	21年	3月	近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園定員変更に伴う園則変更申請認可(100人→60人)
	21年	4月	近畿大学豊岡短期大学こども学科入学定員変更(50人→40人)
	21年	10月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立40周年記念式典

I 法人の概要

(4) 設置する学校・学部・学科等

○近大姫路大学 所在地：兵庫県姫路市大塩町2042 - 2
 看護学部看護学科
 教育学部こども未来学科
 通信教育課程 教育学部こども未来学科

○近畿大学豊岡短期大学 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地
 こども学科
 通信教育部 こども学科
 通信教育部 生活情報・福祉学科（平成19年4月 学生募集停止）
 通信教育部 社会福祉士養成通信課程

○近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地

（平成22年5月1日現在）

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

入学定員、収容定員、現員数 等

（単位：名）

	学部・学科等	入学定員	収容定員	在学（園）者数	備考	
近大姫路大学	看護学部看護学科	100	400	416	平成19年4月開設 （平成23年度完成年度）	
	教育学部こども未来学科	80	340	190	平成20年4月開設 （学年進行中） （3年次編入定員10名）	
	通信教育課程 教育学部こども未来学科	1,000	4,600	317	平成20年4月開設 （学年進行中） （3年次編入定員300名）	
近畿大学豊岡短期大学	こども学科	40	80	77	平成21年4月入学 定員変更（10名減）	
	通信教育部	生活情報・福祉学科	—	—	3	平成19年4月より 学生募集停止
		こども学科	2,000	6,000	3,187	
		社会福祉士養成通信課程 （修業期間：1年7ヵ月）	300	—	平成21年度 323 平成22年度 236	
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園	3歳児	—	100	25		
	4歳児	—		33		
	5歳児	—		30		

（平成22年5月1日現在）

I 法人の概要

(6) 役員の概要（就任順）

理事長	上田 正一	常 勤	平成16年 4月 1日	理事就任
理 事	辻 寛	非常勤	平成16年 4月 1日	理事就任
理 事	南 裕子	常 勤	平成17年10月 1日	理事就任
理 事	上田 弘二	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	長谷川 定宣	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	北見 篤史	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	吉川 智	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	大柳 治正	常 勤	平成19年 5月 1日	理事就任
理 事	植田 義弘	常 勤	平成19年 6月 1日	理事就任
理 事	大原 勇	常 勤	平成21年10月 1日	理事就任
理 事	安木 健	非常勤	平成22年 4月 1日	理事就任
監 事	西馬 正義	非常勤	平成20年 4月 1日	監事就任
監 事	後藤 真	非常勤	平成22年12月15日	監事就任

(平成23年3月1日現在)

(7) 評議員の概要

評議員 23 人

(平成23年3月1日現在)

(8) 教職員の概要

近大姫路大学

看護学部

教 授	10 人
准 教 授	4 人
講 師	10 人
助 教	7 人
助 手	7 人

教育学部

教 授	9 人
准 教 授	5 人
講 師	5 人
助 教	3 人
助 手	0 人

通信教育課程
講 師 3 人

職 員 51 人

近畿大学豊岡短期大学

教 授	5 人
准 教 授	3 人
講 師	7 人

職 員 35 人

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

教 諭	4 人
常勤講師	3 人

(平成23年3月1日現在)

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

私学を取り巻く環境は、少子化の進行と、大学学部の新增設等により入学定員の確保が一段と厳しさを増し、また、昨年度の政権交代により中央では、文部行政や文教政策の見直し、変更等により、私学助成のあり方は、楽観できない見通しであり、加えて国内外の経済不況により大学・短大の経営は、厳しい競争環境にあることを認識することが重要であります。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ内容の充実を図るためには、大学経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければならず、そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できない。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育その他の諸活動の計画と一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければならない。

したがって平成23年度の事業予算をふくめた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えることを目標とし、あくまでも「収支の均衡」と「冗費の削減」を充分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とする。

なお、私立学校法の改正以来大学の経営は、財務情報の公開が義務付けられるとともに、大学経営の透明性と説明責任が問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算編成をおこなうことが重要である。

事業計画予算

- ・ 教育研究と教育環境の充実に配慮
- ・ 施設等の安全性確保に配慮
- ・ 学園の将来構想を基礎として計画
- ・ 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- ・ 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- ・ その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- ・ 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本としている。
- ・ 物品調達等の重要性と必要性及び緊急性を検討する。
- ・ 収入予測を超過しない経常的支出の計画を算定している。

(2) 主な事業の目的・計画等

① 平成23年度に計画している主な事業は次の通りである。

学園における事業の計画

- ・ 「認定こども園」設置構想に係る調査を実施するための諸経費を計上。
- ・ 事務処理の効率化と安定化のため、給与明細用封入封緘機の入替を計画。
- ・ 導入後5年が経過し、業務への支障を回避するため経理財務・施設管理システム用サーバの入替を計画。

近大姫路大学における事業の計画

各学部の特徴を生かした事業

看護学部看護学科

- ・ 国際看護
国際的な視野をもつ、幅広い技術や技能を持った看護師を養成するため、専門家を招いての特別講義、語学教育等の充実を計画している。
- ・ 災害看護
災害看護に対応できる看護師の養成を行うため、現地調査等を含めた災害看護の事業を計画している。
- ・ 実践看護等
実践的な看護師を養成するために、シミュレーションを駆使した授業を行うことが重要となるため、現在大人用と乳児用で共用しているトレーニングシミュレータ用のパソコン及び周辺機器を専用化するための経費を計上している。

教育学部こども未来学科

- ・ 実践的教育
学生みずから「ものづくり」を体験し、その知識と経験を有することは、教員として指導する立場になった時に、大変重要であるため、陶芸用の電気窯設置と係る電源工事を計画している。
- ・ 子育て支援
兵庫県と連携しながら、地域の子育て支援を目的とする取組「まちの寺小屋師範塾」を行っており、今年度も一般に開放された講座を開講する予定。

通信教育課程教育学部こども未来学科

- ・ 通信教育課程における教務事務の適正化と効率化は、学生サービスの観点からも重要項目であるため、教務システムのカスタマイズを行い、また通信科目で使用しているテキストの充実を図り、地方スクーリング会場数を増やして学生サービスの向上を計画している。

学生の就学支援に関する主な事業

- ・ 近大姫路大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学をサポートする事業を計画している。
特別奨学生 A型、B型
学資支援奨学生

教育環境充実等を目的とする施設設備改修の主な事業

- ・ 図書館の照度不足については図書館利用上、支障をきたすことになるため、教育環境の充実の観点から照明設備の増設を計画している。
- ・ 本学構内には、キャンパス見取り図がなく不便な状況にあるため、利用度の高い西門にキャンパス見取り図の設置を計画している。

看護師・保健師・助産師国家試験受験対策事業

- ・ 看護師・保健師・助産師の国家試験対策は、学生にも大学にとっても、大変重要な事業の一つである。ここでは、eラーニングを用いたり、専門的な業者への委託など幅広い対策を視野に入れた事業を計画している。

教員採用試験対策講座事業

- ・ 年々難しくなる教員採用試験への対策講座として、早い段階からのアプローチ、兵庫県を中心とした近畿圏、さらには全国の教員採用試験を視野にいたした事業を計画している。

キャリア・就職支援対策事業

- ・ 社会人に必要とされるマナー等、外部講師による講習会を開催する事業を計画している。
- ・ 就職活動をサポートするため、就活ガイドブック等を作成し、また学内においても積極的に説明会等を開催する計画をしている。

教員免許状更新講習会の実施

- ・ 教育学部をもつ大学として、教員免許状更新講習会の実施は、今後の卒業生に対するアフターケアや地域への貢献のため重要であることから、今年度も講習会の実施を計画している。

地域貢献等を目的とする主な事業

- ・ シニアオープンカレッジの受入等地域への知の貢献等、大学施設の地域への開放を目指した事業を計画している。

近畿大学豊岡短期大学における事業の計画

学生の就学支援に関する主な事業

- ・ 近畿大学豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学をサポートする事業を計画している。

入学金免除奨学生

特別推薦課外活動奨学生

社会人特別奨学生

シニア特別奨学生

特別奨学生

課外活動奨学生

応急奨学生

施設設備に関する主な事業

- ・ 和花季会館（ホール）の空調設備は経年劣化が顕著であるため、安全性の確保から、空調機器の根本的な改修を行うべくオーバーホールを計画している。
- ・ 和花季会館（ホール）で使用しているグランドピアノ（スタインウェイフルコンサート型）の導入から30年が経過し、経年劣化が激しいため、今後予定されているリサイクル等に支障をきたすことから全面的な改修を行うべくオーバーホールを計画している。

地域貢献等を目的とする主な事業

① 異世代間交流を通しての地域貢献

短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば(仮称) 育ちあいのなかまづくり」を計画している。

② 地産地消をテーマにした地域貢献

- ・ 但馬・丹後地域の地産地消と食育をテーマとした「和花季ひろば(仮称)食のフェア」を計画している。

③ 公開講座

- ・ 毎年開催し、地域から好評を得ている公開講座について、今年度も音楽リサイタルを中心とする一般教養講座の開講を計画している。
- ・ 毎年定員をはるかに超える申し込みがあり、人気を博しているパソコン講座を開講する。

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園における事業の計画

地域の子育て支援を目的とする主な事業

- ・ 未就園児（2歳児）の受入
- ・ キンダープラッツ（預り保育）の実施
- ・ 保育終了後の課外講座として、剣道教室、書道教室等開講
- ・ 外部講師を招いて教育講演会等の計画・実施

保育環境の整備を目的とする主な事業

- ・ 園舎は、現在の建築基準法の適用以前に建築したものであるため、耐震強度が不明であることから、安全性の確保のため耐震診断を行う計画をしている。

② 平成23年度の主な事業計画に係る経費は次の通りである。

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
2301	近大姫路大学	看護師・保健師・助産師国家試験対策	6,360
2302	豊岡短期大学	平成23年度公開講座の開催（音楽リサイタル・パソコン講座）	4,030
2303	豊岡幼稚園	幼稚園園舎の耐震診断	4,515
2304	近大姫路大学	図書館書架設置（1）	1,596
2305	近大姫路大学	教務システムのプログラム開発・改良	5,000
2306	豊岡短期大学	ホール空調機器オーバーホール	2,551
2307	法人本部	ホームページリニューアル	2,205
2308	豊岡短期大学	和花季ひろば（食のフェア+育ち合いのなかまづくり）	629
2309	豊岡短期大学	ホールのグランドピアノオーバーホール	3,350
2310	法人本部	給与用封入封緘機の購入	1,600
2311	豊岡短期大学	教務システムのプログラム開発・改良	5,000
2312	法人本部	認定こども園設置に係る調査関係諸経費	2,000
2313	近大姫路大学	高性能乳児医療トレーニングシミュレーターのパソコン等周辺機器専用化	1,380
2314	近大姫路大学	陶芸用電気窯及び電源増設工事	742
2315	近大姫路大学	図書館照明設備増設工事	783
2316	近大姫路大学	屋外用キャンパス見取り図設置工事	794
2317	法人本部	経理財務・施設管理システム用サーバ入替	2,600
合計			45,135

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りである。

近大姫路大学

- ① 看護学部マスターコース（大学院）の設置計画
- ② 教育学部マスターコース（大学院）の設置計画
- ③ 通信教育課程専攻科の設置計画
- ④ 通信教育課程大学院の設置構想
- ⑤ 教育学部における取得可能教員免許の拡大（社会、音楽、保健体育）
- ⑥ 通信教育課程におけるダブルスクールの全国展開

豊岡短期大学（法人本部含む）

- ① 豊岡市における認定こども園の設置計画（2園）
- ② 朝来市における認定こども園の設置計画（1園）

(4) 平成22年度の主な事業の進捗状況は次のとおりである。

学園における整備計画の進捗状況

- ・ 環境問題に配慮したハイブリッドカー（トヨタ プリウス）の導入
- ・ 女子事務職員の事務服を一新し、規程に基づき貸与

近大姫路大学の事業計画における進捗状況

学部の特徴を生かした事業の進捗

- ・ 国内だけでなく、海外も視野にいたした、幅広い技術や技能を持った看護師を養成するため、海外からも講師を招聘し同時通訳を利用した特別講義、フォーラム等を実施し、看護学部の特徴である、国際看護・災害看護に基づく事業を行った。
- ・ 通信教育課程は、全国に受講生がいるため、本校をはじめ地方においてもスクーリングを開講し、教務システムのカスタマイズを通して、教務事務の効率化を図り、学生の通信による教育をサポートしている。

地域交流・貢献事業

- ・ 姫路市のシニアオープンカレッジを開講し、昨年度に引き続き地域に知の貢献を行った。
- ・ 図書館主催「源氏物語を読む会」を昨年引き続き開催し、地域の方々から好評を得ており、学生主導で行われた大学祭「のじぎく祭」でも、多くの地域の方々に参加いただき、看護・教育の各学部の特色を生かした大学祭を実施することが出来た。

看護師・保健師・助産師国家試験受験対策事業

- ・ 看護師・保健師・助産師の国家試験対策は、学生にも大学にとっても、大変重要な事業の一つであるため、eラーニングを用いたり、専門的な業者への業務委託など幅広い対策を視野に入れて、事業を実施している。

教員採用試験対策講座事業

- ・年々難しくなる教員採用試験に対して、早い段階からアプローチする必要があるため、学内で対策室を立ち上げ、対策講座の開催や図書資料等の充実を図っている。

キャリア・就職支援対策事業

- ・社会人に必要とされるマナー等、外部講師による講習会を行った。

教員免許状更新講習会の実施

- ・平成22年度は、近大姫路大学で教員免許状更新講習会を実施。

近畿大学豊岡短期大学の事業計画における進捗状況

施設設備に関する主な事業

- ・食堂（ログハウス）は、危険性の高いウッドデッキの補修と、稼働しない空調機器の取替更新を行った。
- ・事務用パソコンの陳腐化が激しく、事務処理の安定性と効率化のため、パソコンの入替をおこなった。

地域貢献を目的とする主な事業

① 異世代間交流を通しての地域貢献

- ・兵庫県立但馬文教府と相互連携に関する協定を締結し、本学短期大学生と高齢者大学「みてやま学園」大学院生らとの異世代交流を通し人材育成と地域貢献を行った。

② 地産地消をテーマにした地域貢献

- ・短期大学の学生と地域の多世代の人々が交流する場をつくり、社会性を高めるため、但馬・丹後地域の地産地消をテーマとした「和花季ひろば」事業を実施した。地域からの出店参加も多数あり、活発な交流が実現した。

③ 公開講座

- ・平成22年度の公開講座は、音楽リサイタルを行い好評を博した。また、パソコン講座については、上記連携締結を記念して、無料で開講し、こちらも定員をはるかに超える申込があった。

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園における事業の進捗状況

地域の子育て支援を目的とする主な事業

- ・キンダープラッツ（預り保育）・未就園児の受入を行い、外部講師を招いて、子育て支援を目的とした教育講演会等を実施した。
- ・保育終了後の課外講座として、剣道教室、書道教室を開講した。
- ・外部講師を招いて親子参加の修学前教育講演会を実施した。

保育環境充実等を目的とする施設設備の改修の主な事業

- ・射光不足の保育室の照明設備等の見直しを行い、明るい保育室へと改修工事を行った。

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H23年度予算	H22年度予算(補正)	増 減	平成23年度予算概要
学生生徒等納入金収入	2,372,952	2,088,780	284,172	・ 授業料、入学金等の納付金
手数料収入	90,167	83,009	7,158	・ 入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	
補助金収入	246,993	244,676	2,317	・ 私立大学等経常費補助金他
資産運用収入	1,217	1,230	△13	・ 預金利息
事業収入	10,893	11,971	△1,078	・ スクールバス代他
雑収入	9,722	10,594	△872	・ コピー代等その他の雑収入
前受金収入	371,000	351,799	19,201	・ 翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	43,190	28,499	14,691	・ 預り金
資金収入調整勘定	△351,799	△374,844	23,045	・ 前期末前受金
前年度繰越支払資金	882,211	796,868	85,343	・ 前期末の現金預金
収入の部合計	3,676,546	3,242,583	433,963	

支出の部	H23年度予算	H22年度予算(補正)	増 減	平成23年度予算概要
人件費支出	1,489,469	1,444,793	44,676	・ 本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	597,574	530,648	66,926	・ 教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	287,654	279,513	8,141	・ 学生募集経費等管理的経費
施設関係支出	4,460	2,759	1,701	・ 建物等施設に関する支出
設備関係支出	32,101	51,369	△19,268	・ 機器備品等設備に関する支出
その他の支出	99,160	103,130	△ 3,970	・ 前期末未払金の支払等
予備費	30,000	20,000	10,000	
資金支出調整勘定	△51,900	△71,840	19,940	・ 期末未払金等
次年度繰越支払資金	1,188,028	882,211	305,817	・ 翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,676,546	3,242,583	433,963	

② 消費収支予算の状況

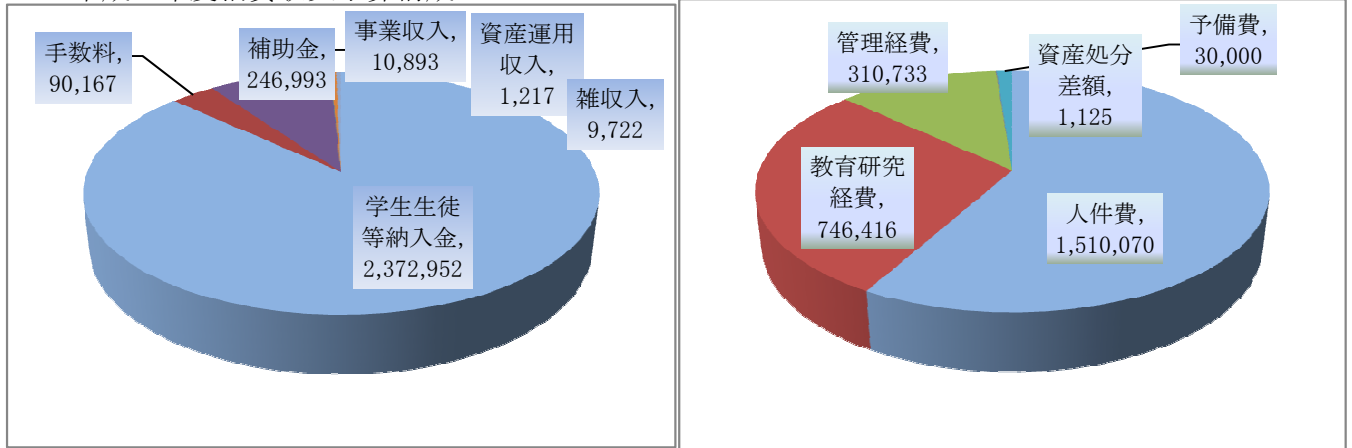
(単位：千円)

収入の部	H23年度予算	H22年度予算(補正)	増 減	平成23年度予算概要	
学生生徒等納入金	2,372,952	2,088,780	284,172	※資金収支予算参照	
手数料	90,167	83,009	7,158		
寄付金	0	0	0		
補助金	246,993	244,676	2,317		
資産運用収入	1,217	1,230	△13		
事業収入	10,893	11,971	△1,078		
雑収入	9,722	10,594	△ 872		
帰属収入合計	2,731,944	2,440,260	291,684		
基本金組入額合計	△47,865	△86,328	38,463		・ 第1号・第4号基本金組入額
消費収入の部合計	2,684,079	2,353,932	330,147		

支出の部	H23年度予算	H22年度予算(補正)	増 減	平成23年度予算概要
人件費	1,510,070	1,464,789	45,281	(退職給与引当金繰入額含)
教育研究経費	746,416	676,541	69,875	※資金収支予算参照 (減価償却費含)
管理経費	310,733	300,394	10,339	(減価償却費含)
資産処分差額	1,125	55	1,070	・ 固定資産処分に係る除却費
予備費	30,000	20,000	10,000	
消費支出の部合計	2,598,344	2,461,779	136,565	
当年度消費収支超過額	85,735	△107,847	193,582	・ 支出超過状態
前年度繰越消費収支超過額	△1,569,565	△1,461,718	△107,847	・ 支出超過状態
翌年度繰越消費収支超過額	△1,483,830	△1,569,565	85,735	・ 支出超過状態

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

平成23年度消費収支予算構成



※消費収入構成

※消費支出構成

※資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

※消費収支とは

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態を明らかにするものであり、1年間の事業成績を判断するもので、企業会計における損益計算書に近いものといわれている。

予算概要の説明

資金収支予算について

平成23年度予算では、近大姫路大学の看護学部が完成年度を迎え、教育学部についても学年進行が進み、近大姫路大学通信教育課程及び豊岡短期大学通信教育部の学生数の増加が見込まれるため、学生生徒等納付金の予測は、前年度より2億8千万円程度の増の予算となった。

支出については、平成23年度予算編成の基本方針により、緊急性・重要性を検討しながら、冗費の削減にも配慮して予算を編成した結果、教育研究経費支出は約7千万円、管理経費は約8百万円の増加となった。支出予算については、教育研究経費に重点配分をしているため、増加割合も大きくなっている。

学部増設等に係る大型の施設・設備投資が一段落したため、施設関係支出は約2千万円、設備関係支出は約4百万円の減額の予算となっている。

したがって、次年度に繰越すことになる資金は約12億円となり、前年度より多く次年度へ資金を繰り越すことができ、資金の保有率が安定してきているといえる。

消費収支予算について

平成23年度の予算の収支の状態は、約8千万円の収入超過の状態である。前期までは、支出超過額の状態にあったため、翌年度繰越消費収支の差額については、約14億8千万の累積の支出超過の状態にある。

平成23年度予算では、近大姫路大学の看護学部が完成年度を迎え、教育学部についても学年進行が進み、近大姫路大学通信教育課程及び豊岡短期大学通信教育部の学生数の増加が見込まれる。また設備投資も一段落したため、基本金組入額も平常な状態に近づいてきており、帰属収入及び消費収入が前期に比べ増加したことが、単年度における収入超過いわゆる黒字の状態となった要因である。

今後の安定した学園経営のためには、この単年度の収入超過を維持し、累積の赤字を解消することが重要である。

(2) その他

① 補助金の交付通知状況

平成22年度 学校法人近畿大学弘徳学園補助金交付状況一覧 (単位：円)

近大姫路大学	私立大学等経常費補助金（一般補助）	102,485,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	28,884,000
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	63,089
	姫路市シニアオープンカレッジ助成金	97,000
	小計	131,529,089
近畿短期大学豊岡	私立大学等経常費補助金（一般補助）	50,461,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	52,593,000
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	14,247
	小計	103,068,247
近畿大学附属幼稚園短期	兵庫県私立学校（幼稚園）経常費補助金	29,053,000
	豊岡市私学振興事業補助金	1,000,000
	地域わくわく陽だまり活動事業補助金	360,000
	私立幼稚園預かり保育等推進事業補助金	1,100,000
	小計	31,513,000
合計		266,110,336

② 科学研究費等外部資金の受入状況

平成22年度 科学研究費補助金交付一覧 (単位：円)

	研究種目	所 属	職名	直接経費	間接経費
研究代表者	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	700,000	210,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	800,000	240,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	700,000	210,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	500,000	150,000
	挑戦の萌芽研究	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	1,100,000	0
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助教	460,000	138,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助教	780,000	234,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	1,050,000	315,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助手	880,000	264,000
	若手研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	1,100,000	330,000
研究分担者	挑戦の萌芽研究	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	200,000	0
	基盤研究（A）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	200,000	60,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	200,000	60,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	100,000	30,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	0	0
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	200,000	60,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	100,000	30,000

平成22年度 姫路市政策研究費助成金交付状況一覧 (単位：円)

所 属	研究グループ名	交付決定額
近大姫路大学 看護学部 看護学科	国際看護研究ゼミ	220,000
近大姫路大学 教育学部 こども未来学科	長瀬ゼミ	170,000

③ 受託研究費受入状況

(単位：円)

受託事業名	委託先	期間	交付決定額
介護予防支援活動研究事業	姫路市	平成22年8月1日～平成23年3月31日	830,000